

# 2025年度 事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

# I. 法人事業

## 1. 組織運営

### 1) 理事会

	日程	内容
第86回	4月5日	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画、指定管理募集の応募について
第87回	4月21日	指定管理募集の応募について
第88回	5月25日	2025年度 事業経過報告、2024年度 下期苦情解決委員会報告、2024年度 事業報告、2024年度 決算、育児・介護休業等に関する規則 一部改正、定期総会の招集
第89回	7月5日	理事長、副理事長の選出および代行順位について
第90回	12月7日	2025年度 事業経過報告、2025年度 上期苦情解決委員会報告、2025年度 第一次補正予算、緊急時対応マニュアル 一部改正、経理規程 一部改正、電子署名及び電子契約管理規程、メンター実施要項
第91回	3月20日	2025年度 事業経過報告、2025年度 第二次補正予算、就業規則 一部改正、非正規常勤職員および代替職員就業規則 一部改正、給与規程 一部改正、2026年度 事業計画、2026年度 当初予算、緊急時対応マニュアル、事故対応マニュアル、クラブ外保育マニュアル 一部改正

### 2) 事務局

- (1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。
- ①4月～6月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出、指定管理選定書類作成
  - ②6月：定期総会を開催、町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
  - ③理事会の議案を作成し、運営
  - ④特別保育の利用料徴収業務
  - ⑤関係諸機関・団体との連携
  - ⑥クラブの職員体制の調整
- (2) 事務局会議を開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行った。

日程	内容
4月	クラブ報告、選定・人事考課スケジュールについて、育児・介護休業法 育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の検討
5月	クラブ報告、鶴川統合打ち合わせ報告、ロケットキッズ 11月企画ディリー検討
6月	クラブ報告、超過勤務分析報告、36協定 超過勤務の上限、メンター制度導入、障がい者雇用、保護者と職員の学習会

日程	内 容
8月	クラブ報告、超過勤務分析、熱中症警戒アラートの対応、鶴川地区 昼食提供について、2024年度 メンタルヘルス外部相談窓口 利用報告、町田市子ども子育て会議、保護者と職員の学習会、利用者アンケート 回答方法、ロケットキッズ、次年度以降の保護者との交流
9月	クラブ報告、ストレスチェック分析、指定管理選定結果、超過勤務分析、メンター制度 実施要項
10月	クラブ報告、利用者アンケート回収率、超過勤務2024・2025年度 4月～6月 比較、保護者と職員の学習会 2026年度 講師候補者、ロケットキッズ受け入れ、障がい者雇用、ふくしチャレンジ職場体験（ふくチャレ）、メンター制度 実施要項、採用面接時の適正検査
11月	クラブ報告、ロケットキッズ、利用者アンケート、8月・9月超過勤務分析、事故・緊急時対応マニュアル、採用面接時の適正検査、個人情報対応マニュアル
12月	クラブ報告、2026年度 入会申請、会計・労働モニタリング、2026年度職員配置、10月超過勤務分析
1月	クラブ報告、2026年度 定数協議、夏休み昼食提供、メンタルヘルス分析、超過勤務分析、ロケットキッズ報告集・参加対象者検討、就業規則の見直し、2025年度事業報告、2026年度 事業計画、常勤2名加算の検討
2月	クラブ報告、超過勤務分析、就業規則の見直し、2025年度 事業報告、2026年度 事業計画、常勤2名加算 保護者と職員の学習会 町田市後援 企画書、事故対応マニュアル、障がい者雇用、ふちくれよんひろば 外部講師企画
3月	クラブ報告、就業規則見直し、緊急時対応マニュアル、2026年度 事業計画

### 3) 各種委員会

#### (1) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③第6期中期計画の振り返り等の検討を行った。

日程	内 容
4月	クラブ報告、PJ/担当報告、指定管理者募集、ロケットキッズ6月企画
7月	クラブ報告、PJ/担当報告、親善交流
9月	指定管理者選定結果、鶴川地区昼食提供、施設長会議報告、PJ/担当報告、クラブ報告
11月	指定管理者選定結果分析、2024年度モニタリング結果、PJ/担当報告、クラブ報告、責任者交換研修、メンター制度実施要綱
2月	施設長会議報告、PJ/担当総括・企画、中期計画、事故対応マニュアル・緊急時対応マニュアル

(2) 調査研究委員会

2025年度、活動はなかった。

(3) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。職員欠員による採用面接は9月まで行い18名（支援員8名 事務員10名）の面接を行った。

日程	内 容
6月	昇級試験について
9月	昇級試験 2026年度 正規採用について
10月	2026年度 正規採用面接（事務員）
11月	2026年度 正規採用面接（支援員）
12月	2026年度 正規採用面接（支援員）
1月	2026年度 職員配置について
2月	2026年度 職員配置
3月	2026年度 正規採用面接（支援員）

(4) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、苦情解決委員会を5月と11月に開催し、第三者委員に報告した。

## 5) 職員の諸会議

(1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に年3回実施し、施設責任者が運営を担当した。

(2) プロジェクト等、課題別の会議

①ぶちくれよんひろば

年10回会議を開催し、地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくすため、親子が安心して過ごせる居場所づくりとなるよう計画した。開催情報等を必要な家庭に直接届けるため、町田子育て相談センターと連携し、マイ保育園登録訪問の際にチラシ配布を依頼した。また、多くの利用者の声を集めるため、利用者アンケートを企画時アンケートや利用者カードに盛り込む検討を行った。

②ロケットキッズ

年13回会議を開催し、6月28日（土）のこどもの国でのピザ作り、11月1日（土）・2日（日）のNature Factory 東京町田での宿泊行事に向けて準備を行った。今年度は参加しやすくするため、集合場所を3か所に増やすとともに、子ども会議で次年度の企画を検討するなど、内容の充実を図った。また、チラシや広報方法について検討し、今年度から公式LINEを活用した広報および報告集の配信体制を整備した。リコー社会貢献クラブ・FreeWillに寄付申請を行い、寄付金を受領した。

③広報紙『くれよん』

年11回会議を開催し、タイムリーな記事を掲載できるよう年間計画を適宜見直しながら、179～184号の記事を作成・発行した。また、在籍児童の保護者がより手軽に情報を受け取れるよう、利便性の向上を目指してデータ配信の導入を検討した。

④保護者と職員の学習会

年6回の会議を実施し、学習会開催に向けて、チラシの作成・配布、参加申

し込みの受付、参加者アンケート（Google フォーム）の作成・集計、次年度の町田市後援申請に係る書類作成を行った。

#### ⑤高学年企画合同行事

年9回の担当職員の会議と、年8回の高学年の子どもたちとの会議（高学年会議）を実施した。高学年会議で『ドッジボール』を実施することが決定し、1月31日（土）に4地区に分かれて実施するための準備を行った。職員間では各地区の開催場所や移動方法等を検討し、子どもたちとの会議では職員が進行を担当して、ルール決めや役割分担、当日の進行方法について話しあった。

## 2. 人材確保

### 1) 人材確保

#### (1) 就職説明会

12月に町田市主催の「まちだの学童保育の就職フェア」（就職説明会）に参加したが、応募にはつながらなかった。就職フェアに向けて、クラブ紹介ポスターをクラブ職員の協力のもと作成した。

#### (2) 大学訪問

2026年度は運営クラブ数が減少するため、直接の大学訪問は行わなかったが、玉川大学の教員へ求人情報を案内した。昨年度に引き続き、多くの大学が活用しているアルバイト求人サイトを活用し、夏休みアルバイトを募集した。

#### (3) クラブ見学の受け入れ

ホームページの求人コーナーにクラブ見学が可能である旨を掲載し、求職者から依頼があった際には見学の受け入れを行った。

#### (4) インターンシップの受け入れ

玉川大学から依頼を受け、大学の春・秋学期にインターンシップの受け入れを行った。学童保育だけでなく、ロケットキッズプロジェクトの企画に学生が参加し、学生によるプログラムを設けた。

また、町田市からの依頼により、東京家政学院大学の学生を受け入れた。

区分	時期	受入先	人数
玉川大学	春学期	大蔵 高ヶ坂けやき	各1名
玉川大学	秋学期	大蔵 どろん子 南大谷	2名 2名 1名
東京家政学院大学	2月 (町田市より依頼)	大戸のびっ子	1名

#### (5) 法人ホームページの活用

ホームページを見ての問い合わせが複数あった。職員募集ページが求職者にとって分かりづらかったため、レイアウトを変更した。玉川大学からインターンシップ生を受け入れたが、ホームページへの掲載には至らなかった。

#### (6) ジョブリターン制度に該当する職員はいなかったため、説明は行わなかった。

#### (7) 求人活動をサポートする会社に求人活動の一部を委託した。

#### (8) ふくちゃれ（ふくしチャレンジ職場体験事業）

福祉に関心のある幅広い世代の方を対象に、福祉の仕事への理解を深めることを目的として、東京都の事業に登録した。8月に南大谷学童保育クラブにて1名を受け入れた。

#### (9) 適性検査の実施の検討

正規職員採用試験にあたっては、適性検査を実施し、早期離職防止に活用することを検討した。その結果、2026年度より導入する。また、入職後の教育のため、必要に応じて育成支援報告書の活用を検討する。

## 3. 人的安定性

### 1) 人的安定性

#### (1) 職員のフォローアップ

振り返りシートを活用し、施設責任者が定期的に職員面談を実施した。あわせて、定期点検の際には担当マネージャーが職員面談（新規採用者・異動者）を

行った。休職した職員が復職した際には、復職プログラムを作成し、定期的に面談を実施した。

(2) メンタルヘルス対策

外部相談窓口として、東京メンタルヘルス株式会社が提供する「メンタルヘルスサポートネット」を利用した。また、セルフチェックを年2回実施した。あわせて、新規採用職員はセルフケア講習を、管理者はラインケア講習を受講した。

(3) 給与水準の検討

職員の雇用の安定および一定の生活水準の確保のため、社会情勢や水準を踏まえ、該当者には特別賞与を支給した。

(4) メンター制度の導入

実施要項を作成し、2026年度からのメンター制度導入に向け準備を進めた。

## 2) 人材育成

人材育成方針に沿った研修計画に基づき、職員研修および職場内教育を実施した。

外部研修では、町田市主催の資質向上研修に常勤職員が参加し、非常勤職員はテーマを定めて年1回参加した。東京都社会福祉協議会主催の研修を活用し、中堅職員および管理者がキャリアアップ研修を受講した。また、東京都社会福祉協議会の講師派遣制度を活用し、全職員を対象に「保育士が身に付けたい言葉づかいと電話対応」をテーマとした接遇マナー研修を実施した。

法人内階層別研修のうち常勤研修の一部は今年度も録画し、体調不良等で参加できなかった職員が後日視聴できるようにした。

新規採用者を中心に「放課後児童支援員認定資格研修」を受講し、経験年数5年以上の常勤職員は「東京都放課後児童支援員資質向上研修」を受講した。

救命救急等の資格取得講習には、対象となる常勤職員および非常勤職員が参加した。

人事考課に基づくフィードバック面接を年2回実施し、目標の到達状況と課題の確認を行った。

## 3) 研修

### 1. 全国学童保育連絡協議会主催

日時	研修名	場所	参加人数
6月29日	全国学童保育指導員学校	東京都立国際高校	41人
10月25・26日	全国学童保育研究集会	福岡国際センター/ 福岡大学	6人

### 2. 東京都主催

#### 東京都放課後児童支援員資質向上研修

日時	テーマ	場所	参加人数
1月14日	職場倫理・障がい児理解・ 保護者、学校との連携	戸山サンライズ	2人

### 放課後子供総合プラン スタッフ研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
WEB配信	放課後子供総合プラン	オンライン	1人
WEB配信	子供に対する性暴力の防止及び発生後の対応について	オンライン	39人

### 3. 東京都社会福祉協議会主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
7月1・2日	職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員	オンライン	2人
9月3・4日	チームリーダー研修	オンライン	1人
11月11・12日	リーダーシップ研修	オンライン	2人
1月20・21日	OJT・仕事の教え方	日本社会事業大学	3人
2月5・6日	OJT・仕事の教え方	オンライン	1人
WEB配信	新任職員の定着・育成入門研修	オンライン	3人
WEB配信	多様な人材が働きやすい職場づくり研修	オンライン	2人

### 4. 町田市子ども生活部児童青少年課 放課後児童支援員資質向上研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月26日	アタッチメントの個人差の理解と支援	オンライン	45人
7月9日	子どもが夢中になるゲーム ～室内ゲームを中心に～	オンライン	43人
9月19日	アレルギー事故防止策	オンライン	常勤50人 非常勤76人
10月9日	高学年保育について	オンライン	51人
11月13日	子どもの環境の変化から受ける 心理的影響について	オンライン	48人
12月11日	保育所における接遇・マナー研修	オンライン	45人
1月28日	保護者対応・相談援助	オンライン	44人
3月4日	伝わる伝え方 支援員間での情報共有	オンライン	43人

### 5. 町田市子ども生活部子ども家庭支援課主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
9月19日	相談援助の基本 ～聴く力・伝える力～	健康福社会館	1人
9月26日	相談援助の基本 ～カウンセリングマインド～	健康福社会館	1人

## 6. 階層別研修（法人）

### （1）初任者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月24日	記録の取り方①	オンライン	7人
7月11日	接遇・マナー研修	大蔵・どろん子	6人
12月19日	苦情解決①	オンライン	8人
12月5日	保護者との関わり	オンライン	8人

### （2）中堅者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
7月11日	苦情解決②	オンライン	5人
11月14日	保護者会支援①	オンライン	4人
11月14日	子育て支援	オンライン	7人
6月24日	記録②実践記録	なかよしクラブ	13人
3月18日	記録②実践検討会	大蔵クラブ	12人

### （3）管理者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
11月7日	保育・児童分野における リスクマネジメント	WEB配信	18人
WEB配信	管理職のためのメンタルヘルス	オンライン	11人
2月13日 2月17日	育成面談研修 ～信頼関係を深め、やる気を促す育成面談～	オンライン	5人

### （4）全職員研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
WEB配信	福祉職のためのメンタルヘルス	オンライン	常勤34人 非常勤92人
1月13日	保育士が身に付けたい 「言葉づかい」と「電話対応」	オンライン	常勤48人 非常勤67人
12月～2月	情報セキュリティ対策	各クラブ・事務局	常勤 52人 非常勤83人

### （5）職場内教育

月	内 容	月	内 容
4	リスクマネジメント・食品の取り扱い	9	安全管理・危機管理
5	個人情報の取り扱い	10	苦情解決
6	保育理念文書	2	アレルギー対応

## 7. 事務局研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
8月13日	東京都認証学童クラブ最新情報	WEB配信	1人
8月18日	メンター制度導入による 社員育成を考える	オンライン	1人
8月26日	「就労パスポート」活用セミナー	町田市合同庁舎	1人
9月26日	障害者雇用促進セミナー	オンライン	2人

## 8. 資格研修

講習名	参加人数
放課後児童支援員	常勤4人 非常勤2人
普通救命救急講習	常勤10人 非常勤10人
上級救命救急講習	4人
安全衛生推進者	2人

## 4. 啓発活動

### 1) ニュース発行他

#### (1) 広報紙「くれよん」

広報紙「くれよん」を年間計画に基づき年6回、1,290部発行した。法人主催の「絵本×価値観発見～価値観から見えてくる自分らしい子育てとは？」(保護者と職員の学習会)の報告をはじめ、法人12クラブの合同行事、町田市立中学校の職場体験、地域の取組として子ども食堂の活動の様子などを掲載した。

#### (2) 「ぷちくれよんだより」 季刊発行・公式LINE

ぷちくれよんひろば利用者と学童保育クラブ在籍家庭へ、子育てに関する情報提供を目的に、「ぷちくれよんだより」を学期ごとに年3回発行した。

企画時には、親子で工作を楽しむ様子や完成した作品を掲載するとともに、季節に合わせて「夏の睡眠について」「子どものスキンケアについて」など、子育てに役立つ情報や利用者アンケート結果を掲載した。また、公式LINEやホームページの案内を掲載し、利用者登録を呼びかけた。

公式LINEでは、毎月の企画内容や開放日等の情報を利用者へ配信した。

### 2) ホームページの充実

#### (1) 法人事業のページにぷちくれよんひろばの実施予定および「ぷちくれだより」

を掲載し、ロケットキッズの6月・11月の報告集も掲載した。また、お知らせページを活用し、保護者と職員の学習会の開催、ふくしチャレンジ職場体験事業「ふくチャレ」への参加、定期総会の開催等について掲載し、リアルタイムに情報発信を行った。

#### (2) お知らせページにおける「学童クラブ」「イベント情報」の活用は十分できていない。

#### (3) ボランティア受入の窓口として、ホームページに各クラブの募集状況を掲載する計画であったが、クラブからの情報収集ができず、掲載には至らなかった。

### 3) その他

#### (1) 学童保育月刊誌「日本の学童ほいく」の普及

日本唯一の学童保育に関する専門雑誌であり、2025年度は45部の購読申し込みがあったが、購読は職員にとどまっている。ブロック会議やクラブの支援員会議で月刊誌を活用し、支援員教育の充実を図った。今後も懇談会等を活用し、月刊誌の普及活動を継続して行っていく。

## 5. 子育て支援事業

### 1) 緊急一時保護

町田市の依頼を受け行った。

### 2) 通所支援事業

「町田市学童保育クラブ通所支援に関するガイドライン」に基づき、町田の丘学園に在籍する児童の通学バス停までのお迎え事業を行った。

### 3) ぷちくれよんひろば事業

5か所の学童保育クラブ（高ヶ坂けやき、どろん子、南大谷、なかよし、大蔵）で開催した。昨年度までそよかぜ学童保育クラブで開催していたが、「町田市新たな学校づくり計画」により小学校が統合されたため、高ヶ坂けやき学童保育クラブへ拠点を移して開催した。高ヶ坂けやき学童保育クラブでは、一定数の親子が継続して利用している。

2025年度から、予約不要で利用できるようにし、人数制限も設けなかった。あわせて、インフルエンザ等の感染症流行時における開催中止の判断基準を見直し、開催学童保育クラブの小学校で学年閉鎖・学級閉鎖となった場合は開催を中止し、ホームページおよび公式LINEで周知した。11月には屋外企画「お外であそぼう」を実施し、近隣公園で開催した。

利用者アンケートは、企画時に実施する運用へ変更した。「かわいいものが作れて持ち帰ることができて嬉しい」「作って遊べる工作だと子どもの満足度も高いかも」等の意見があった。また、「ロディやコンビカーなどのおもちゃが欲しい」等の要望もあり、利用傾向や利用者が求める玩具等の意見を幅広く収集でき、玩具の購入につながった。あわせて、「おもちゃや本の充実」「自宅からの近さ」が利用目的として挙げられていることも分かった。公式LINEの登録者数も増加傾向にあり、50世帯が登録している。

	登録 世帯数	年間延べ利用数	
		保護者	乳幼児
大蔵	5	8	8
高ヶ坂けやき	4	23	22
どろん子	5	18	17
なかよし	2	2	2
南大谷	3	4	7

### 4) にじいろキッズ事業

空き待ち児童がでなかったため、実施しなかった。

### 5) ロケットキッズ

6月28日にこどもの国にてピザ作りを行うデイキャンプを実施し、11月1日・2日にはNature Factory 東京町田にて1泊2日の宿泊行事を実施した。6月は玉川大学のインターン生1名を、11月はインターン生3名およびボランティア8名（保護者OB、卒会生、職員）を受け入れた。

6月は、昨年度と同様に生地からのピザ作りを行うとともに、11月の宿泊行事の計画について話し合う子ども会議を実施した。

11月の宿泊行事では、6月の子ども会議での案を基に、班ごとにウォークラリーやカレー作りを行い、夜のおたのしみとしてキャンプファイヤー、花火、焼きマシュマロ等を実施した。2日目には飯盒炊爨によりおにぎり作りを行った。

初参加の子どもからは「友達ができた」、継続参加の子どもからは「ロケットキ

ッズでできた友達に会えることがうれしい」といった声があり、交流を喜ぶ様子  
がうかがえた。

また、2024年度まで法人が運営していたそよかぜクラブからの参加があった。  
継続参加児童および新規参加者はいずれも増加しており、11月企画は参加定員に  
達した。

	大蔵	図師	金井	高ヶ坂 けやき	そよかぜ	つくし野	どろん子	なかよし	南大谷	わんぱく	学童外	合計
6月	1人		3人	5人	2人	3人	2人	1人		1人		18人
11月	1人	2人	4人	7人	5人	4人				2人	1人	26人

\*6月企画：昨年度の継続参加11名 新規7名

\*12月企画：継続参加13名 新規13名

## 6. 保護者会活動への支援

### 1) 保護者会との懇談会の充実

各クラブ保護者会の相互の交流を図るとともに、法人からの情報発信および連  
携を図るため懇談会を年4回開催した。開催方法は対面を基本とし、学校行事等  
の状況を見ながらオンラインも併用した。懇談会前に各保護者会が疑問に思っ  
ていること、他の保護者会に聞きたいことなどのテーマを募った。保護者会活動に  
ついての情報共有だけでなく、学校の統合に伴う学童保育クラブの統合につい  
ての情報共有も定期的に行っており、子どものためにできることを保護者会共に考  
える機会となった。より交流を深められるよう、今後も保護者会への聞き取りや  
懇談会後のアンケートを行い、いただいた意見を活かして交流内容を検討する。

月	内 容
6月	事業報告、保護者会活動と取組の予定、保護者と職員の親善交 流会
9月	事業結果報告、夏休み期間の昼食提供（町田市、保護者会実 施）、進級式の保護者会としての関わり
12月	町田市の新たな学校づくりの情報共有、利用者アンケート、役 員選出、保護者会費やおやつ代
2月	町田市の新たな学校づくりの情報共有、保護者会の意義、保護 者会共催行事参加状況・参加賞など

### 2) 保護者と共に学び考える場を

9月6日（土）に、「絵本×価値観発見～価値観から見えてくる自分らしい子育てとは？」をテーマに、講師に鈴木由香さん（わんぱく学童保育クラブ保護者OB）をお招きし、絵本の読み聞かせと『価値観探求カード』を使ったグループワークを行った。今年度も子育てに関わる全ての人を対象とし、現役保護者3名、元保護者2名、一般2名、外部団体職員1名、法人職員・理事11名の計19名の参加があった。町田市民ホールの会議室を借用し、初めて町田駅前地区で開催することができた。

### 3) 親善ソフトボール

相原中央グラウンドにて、9月28日に保護者および職員有志による交流ソフトボールを実施した。参加者は、保護者OB・OG22名、理事・監事4名、職員13名、子ども8名の計47名であった。より多くの方が交流できるよう、次年度はドッジボールに内容を変更して実施する。

## 7. 関係団体・機関との連携

### 1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 東京都子供・子育て会議委員を依頼され、職員を派遣した。

### 2) 学童保育に関する団体との連携

- (1) 町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会（父母連協）および町田市学童保育を考える会（考える会）からの依頼を受け、図師学童保育クラブおよびどろん子学童保育クラブに、町田市市議会議員ならびに町田市長候補者による視察が行われた。
- (2) 町田市学童保育運営者協議会に参加し、市内で学童保育クラブを運営する法人と夏休みの過ごし方や昼食提供、地域交流の方法、幼稚園、保育園との引継ぎについて等、6月、10月、2月に情報交換を行った。
- (3) 町田市社会福祉協議会の主催する児童の絵画展の選考委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者との情報交換を行った。

### 3) 子どもに関する事業を行う団体・法人との連携

- (1) 冒険あそび場「せりぼう」とは広報紙のやりとりのみだった。保護者と職員の学習会のチラシ配布の依頼をした。

## 8. 苦情解決

法人苦情解決制度に基づき設置された「苦情解決委員会」を年2回開催し、保護者および地域から寄せられたご意見と対応について委員に報告を行った。苦情の件数は下記の通りであった。

17件中、支援員の対応に関する苦情の件数が16件あり、上半期12件、下半期4件と下半期に大幅に減った。内容としては、支援員の対応の不充分さが主であった。また、駐車や車の通行に関する内容が1件あり、引き続きクラブ通信や貼り紙等で呼びかけを行っていく。ケガやトラブルの対応では、児童からの聞き取りや状況把握を丁寧に行い、支援員間の共有も速やかに行う。保護者に報告する際は、内容を把握した上で正しく行っていく。報告内容については、各クラブの支援員会議で情報共有を行い、再発防止に努める。また、町田市に報告書を提出した。

苦情内容	2024年度	2025年度
職員の対応	18	16
近隣	2	0
その他	3	1

## 9. 学童保育の充実にむけた取組

### 1) 施設の狭あい化

児童数の増加により狭あい化している施設の課題を解消するために、定数協議の際に町田市と協議した。

### 2) 学童保育クラブの統合

- ① 小学校の統合に伴う学童保育クラブの統合への対応について、運営委員会および理事会において検討を行った。
- ② 鶴川中央学童保育クラブの開所に向けて、統合対象となる鶴川学童保育クラブおよび鶴川第四学童保育クラブの間で、引継ぎを実施した。  
保育内容および児童に関する情報の引継ぎを、両学童保育クラブの支援員間で行った。また、児童の実際の様子を把握する機会として、2026年1月より鶴川第四学童保育クラブの支援員が鶴川学童保育クラブに定期的に来所し、保育に参加した。さらに、12月（児童のみ）および2月（児童と保護者）に、集団ゲ

ーム等を通じた交流会を実施した。

保護者会については、鶴川学童保育クラブ保護者会、鶴川第四学童保育クラブ保護者代表および鶴川第四学童保育クラブ支援員による懇談会を開催し、引継ぎを行った。また、保護者会物品の整理にあたっては、各保護者会および学童保育クラブに対し、譲渡に関する呼びかけをした。

## 10. その他

### 1) 労働安全衛生の推進

主任で受講していない者は「安全衛生推進者」の資格取得のための講習を受講した。過去に起きた労働災害ならびに一般財団法人 地方公務員安全衛生推進協会発行の冊子を用いて責任者会議にて学習会を行った。

### 2) 震災で被災した学童保育への支援金の取組み

法人として、全国学童保育連絡協議会が実施している「東日本大震災学童保育募金」および「自然災害学童保育支援募金」に引き続き協力を行い、集まった支援金を送金した。定期総会や保護者と職員の学習会、広報紙くれよん183号にて取り組みについて説明し、支援の呼びかけを行った。クラブ単位での取り組みが全クラブで実施できなかったため、次年度は共催行事等の際に支援の呼びかけを行う。

### 3) 事業拡大と法人基盤の強化

- (1) 2026年度 鶴川学童保育クラブ（鶴川中央学童保育クラブ）の運営を継続して引き継ぐことができなかった。
- (2) 地域の子育て支援を開始するために、子どもクラブの指定管理者の募集に応募したが、選考から外れた。
- (3) 弁護士と顧問契約を締結し、就業規則等の規程類の改正や職員の雇用に関する事項について、適宜相談を行った。
- (4) 法令等改正に伴い、必要な就業規則の改正を行った。また、社会情勢や現状に合わせ、都度、内規等の新規制定や諸規程の改正を行った。
- (5) 障がい者雇用について、ハローワークの職員より説明を受け責任者会で業務の切り出し作業を行った。
- (6) 新年度前には、会員となったことがある方や関係者等に、会費の払込書とともに依頼文を送り、引き続き会員となっていただいた。しかし、会員数は減少している。

(2025年4月1日～2026年3月31日)

区分		2024年度	2025年度
正会員	団体会員	12	11
	個人会員	56	58
賛助会員	個人会員	19	16

## Ⅱ. 学童保育事業

### 1. 事業展開

「倫理綱領」「倫理綱領に基づく行動指針」「保育実践のガイドライン」「学童保育所保育指針」等、保育理念に関する法人諸規程に基づき、保育事業を行った。

(各クラブ事業報告書：別紙参照)

2024年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果（モニタリング）」において、ファックスの誤送信、賞味期限切・アレルギー物質を含むおやつを誤って提供した、児童の安全性が損なわれた案件があったため指摘された。

11月に町田市の会計・経理・労働条件モニタリングが行われた。事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。

### 2. 組織運営

#### 1) 職員会

##### (1) マネージャー会議

各クラブの情報共有、諸会議の議題の決定、マニュアルの改定について検討した。

##### (2) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

月	内 容
4月	おやつの提供、6月 保護者会との懇談会について
5月	おやつの管理アプリ、入退室管理システム、夏休みのしおり・昼食注文、6月 保護者会懇談会議題確認、第6期 中期計画、親善交流会について
6月	合同行事、利用者アンケート回収率の上げ方、モニタリング評価について
7月	保育内容、児童の対応方法、保護者会支援、労務管理について
9月	9月 保護者会懇談会議題、保護者会支援、保育参加後の効果、10月 運営委員会議題確認、親善交流ソフトボール、安全衛生管理について
10月	2学期 正規職員全体会議題整理、11月 運営委員会議題確認、12月 保護者会との懇談会
11月	利用者アンケート回答、自己評価まとめ検討
12月	責任者交換研修、第6期中期計画
1月	入会説明会の書類確認、2月 保護者会懇談会議題、3学期 正規職員全体会、事故対応マニュアル、連絡帳の取り扱いについて
2月	年間保育計画の計画について
3月	職員引継ぎについて

##### (3) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、常勤職員の職員教育および業務標準化を図った。

### 3. 関係団体・機関との連携

#### 1) 行政との連携

- (1) 小学校とは、学校内のルールや危険個所・危険要因に関する情報交換を行い、児童が安全に過ごせる環境づくりに努めた。また、小学校が運用する tetoru に学童保育クラブを登録し、児童の状況把握体制を整備した。さらに、災害時に備えた引き渡し訓練や集団下校対応等において連携を図り、緊急時の安全確保に向けた協力体制を構築した。  
各学級担任とは、必要に応じて情報交換・情報共有を行い、児童が小学校と学童保育クラブの双方で安心して過ごせるよう連携した。
- (2) 「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会との協力・連携を図った。あそび方のルール、ケガやトラブルなどの情報を共有した。また、地震や不審者の避難訓練を合同で行った。
- (3) 地域子育て支援ネットワーク連絡会に参加し、児童虐待防止および地域の子育て支援に関する連携を図った。
- (4) すみれ教室等、地域の子育て支援に関する諸機関との連携を図った。
- (5) 町田市教育センターが主催する「町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・特別支援学校連絡協議会」に参加し特別な支援が必要な児童の保育・療育等に関する連携を図った。

#### 2) 町田市への報告

- (1) 児童の所在不明  
玄関付近に支援員が不在であったため、迎え予定の児童が一人で帰宅した。保護者からクラブへ連絡があり、児童が降所していたことを確認した。支援員が約 15 分間、児童の所在を把握できていなかった。
- (2) 児童の出欠席の確認  
児童の所在不明が判明した時点で、定められた連絡手順に沿った保護者への電話連絡を行わず、所在確認が遅れた。
- (3) 児童の降所時間の誤り
  - ・放課後子ども教室（まちとも）へ中抜けする児童を、誤って自宅へ一人で帰宅させた。
  - ・児童を当初の予定時刻より早く、誤って一人で帰宅させた。習い事の中止連絡が間に合わず、児童は習い事先へ向かった。
  - ・当初は 18 時に一人帰りの予定であったが、保護者から迎えに変更する旨の連絡があった。支援員が当該連絡を失念し、18 時に児童を一人で帰宅させた。
  - ・保護者から降所時間を変更する旨の連絡があった。連絡を受けた職員からの申し送り内容を担当職員が誤認し、予定より早く児童を帰宅させた。
- (4) 開所時間の遅れ  
学童門の鍵の不具合により開錠できず、開所が約 15 分遅れた。鍵に異変が見られた際は、速やかに交換する。
- (5) 書類の紛失  
保護者より預かった特別保育利用申込書兼利用実績明細書を紛失してしまった。
  - ・出欠表に提出物の受領確認欄を設ける。提出物を一時保管する際は、ファスナー付きの袋に変更する。
  - ・提出物書類をファイルに綴じる際は、複数の職員で確認する。

### 4. 保育の質の向上

#### 1) 児童の安全対策

事故とけがに関するヒヤリハットの振り返りと分析を各クラブで学期ごとに行った。支援員の事故防止対策に対する知識の習得と児童への安全指導が適切に行

えるように、ブロック会議等で分析結果の共有と事故防止対策の報告を行い、必要に応じマネージャーが指導、助言を行った。また、前年度の長期休み中に起こった事故やケガの対策についても共有を行い事故防止に努めた。

## 2) 保育実践の報告会

正規職員全体会の際に、①低学年の保育、②高学年の保育、③誕生会、④昔あそび、⑤子ども会議、⑥夏休みの保育のテーマごとのグループに分かれ、発表者の実践から意見交換を行い、今後の保育で大切にしていきたいこと深めていった。また、ブロック会議では各クラブの行事・取り組みなどの情報交換や実践を振り返り、クラブで取り入れられるものは実践に活かした。

## 3) 保育に関する自己点検

月に一度の支援員会議の場で、保育の振り返りシートを活用し自身の保育の振り返りや見直し（点検）を行うことで、職員の保育の質の向上を図った。

# 5. 安全対策

## 1) 業務継続計画の変更

町田市が風水害・土砂災害時の避難場所の見直しを行ったため、避難場所の変更を行った。

## 2) 児童への健康指導・安全指導

### (1) 健康指導

感染症対策として、手洗い・手指消毒の徹底および食事のマナーについて指導を行った。また、正しい手洗いができているかを確認するため、年2回以上「手洗いチェッカー」を使用し、児童へ視覚的に分かりやすい形で指導した。

熱中症対策としては、熱中症の仕組みや暑さ指数（WBGT）について学ぶ機会を設け、水分補給・休息の重要性、衣服の調整方法などについて指導した。

### (2) 安全指導

学区の通学路マップ等を活用し、年3回（4月・7月・2月）交通安全指導を実施した。

年度当初には、施設内外の危険箇所の確認、遊具の正しい使い方や安全な遊び方について指導を行った。また、児童の危険予知能力を高めるため、KYT（危険予知トレーニング）も取り入れ、安全意識の向上を図った。

## 3) 食物アレルギー・熱性けいれん・てんかんの対応

### (1) 食物アレルギー

「学童保育クラブ食物アレルギーの手引（町田市）」を職員全体で確認し、共通理解を図った。また、「食物アレルギー対応マニュアル・チェックリスト」に基づき、日常の食品管理は曜日ごとに小袋を用意し、個別の専用ケースで保管した。さらに、おやつ提供時の事故防止対策を徹底した。

食物アレルギーのある児童については、年度ごとに家庭と面談を行い、個別対応プランを作成した。プランに基づき、おやつ等の提供を適切に実施することを徹底した。

### (2) 熱性けいれん・てんかん

熱性けいれん・てんかんのある児童については、年度ごとに家庭と面談を行い、発作時の対応方法を確認した。発作が起きた際には、チェックシートならびに座薬の挿入に関する意見書・同意書兼依頼書に基づき、適切に対応する体制を整えた。

また、対象児童の在籍の有無にかかわらず、年度当初にアレルギー、熱性けい

れん・てんかんの対応に関する支援員教育を実施し、全職員の対応力向上を図った。

#### 4) 防災・不審者対応

##### (1) 火災事故防止

各クラブに防火管理者を配置し、消防計画に基づく点検および訓練を実施した。また、火災防止のため、チェックリストに基づき日常点検を行った。法定の消防設備保守点検が義務付けられている施設については、年2回点検を受けた。

##### (2) 児童・職員の訓練

「町田市学童保育クラブ防災・不審者対応マニュアル」に基づき、自然災害時および不審者対応等を想定した訓練を毎月実施した。また、職員教育として、警察署および消防署の職員による訓練を、それぞれ年1回実施した。

町田市の土砂災害・洪水ハザードマップで危険箇所となっているクラブ（大蔵・大戸のびっ子・金井・成瀬中央あおぞら・南大谷・わんぱく）については、1学期に訓練を実施した。

「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会と合同で、地震・不審者等を想定した避難訓練を企画・実施した。

#### 5) 衛生管理

##### (1) 衛生管理

衛生管理チェックシートに基づき、施設・設備の維持管理を日・月単位で実施した。

##### (2) 食品の管理

食品の賞味期限については、マニュアルに基づき複数の支援員で確認し、適切に提供した。また、食品の在庫管理は、アプリを活用し、複数の支援員で定期的に確認することを徹底した。4月には、食品管理に関するマニュアルを全支援員で確認した。

#### 6) 安全計画、各種マニュアルの改訂

安全計画は、次年度に向けて3月に各クラブで見直しを行った。また、緊急時対応マニュアルおよび事故対応マニュアルの見直しを行った。

#### 7) 事故件数（医療機関にかかった場合）

2024年度と比べ、児童のけがの件数は全体として減少したが、学童保育クラブによっては増加が見られた。主な傾向として、転倒・つまずきによる足の捻挫や、あそびの中で指を痛める事例が多かった。また、同一児童が複数回けがをして通院した事例もあったため、全体への注意喚起に加え、児童の状況に応じた声かけを行う。引き続き、通院を伴わない軽微なけがも含めて事故の分析を行い、支援員会議で再発防止策を検討していく。

施設賠償は前年より1件多かったが、学童保育クラブによって件数に偏りが見られた。施設の使用方法やルールについては、引き続き繰り返し指導を行う。また、職員のけがが続いたことを受け、責任者会議において労働安全衛生に関する学習会を実施し、職員の安全確保に努めた。

	児童				職員		児童のケガ	
	傷害		施設賠償				保育中	登下校中
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度		
大蔵	5	5	0	0	1	2	5	0
大戸のびっ子	1	1	0	2	0	2	1	0
金井	0	2	0	0	0	2	2	0
高ヶ坂けやき	1	3	0	0	1	0	3	0
図師	5	3	0	0	0	2	3	0
つくし野	5	2	1	0	0	0	1	1
鶴川	3	4	0	0	0	0	3	1
どろん子	8	5	0	0	2	1	5	0
なかよし	11	10	1	2	2	1	9	1
成瀬中央あおぞら	6	3	1	0	0	1	3	0
南大谷	6	8	0	1	1	0	6	2
わんぱく	8	3	1	0	0	0	3	0
事務局	0	0	0	0	0	0	0	0
計	59	49	4	5	7	11	44	5

## 7. 地域との交流

### 1) 交流・合同行事

各クラブ間の相互交流のため、法人内 12 学童保育クラブ合同行事を開催した。高学年の児童を中心に企画・運営を行い、準備として 8 回、高学年会議をオンラインで行った。当日は鶴川地区（大蔵・金井・鶴川）・忠生地区（図師・なかよし）・成瀬地区（高ヶ坂けやき・成瀬中央あおぞら・南大谷）・南地区（大戸のびっ子・つくし野・どろん子・わんぱく）の 4 地区に分かれてドッジボール交流会を行った。各地区で高学年児童が司会進行やルール説明を行い、ドッジボールを通じて交流を図った。

### 2) 地域との交流を目的とした行事の実施

- (1) 地域の自治会等、または地域での子どもの安全と健やかな成長を願う団体と、行事を通して交流を図った。金井学童保育クラブは、自治会が企画したウォークラリーに参加し、交流を深めた。
- (2) 学童保育クラブに在籍する子どもと地域の子どもの交流を目的として、地域開放行事を実施した。大蔵学童保育クラブ、わんぱく学童保育クラブ、南大谷学童保育クラブで木工工作教室を開催し、高ヶ坂けやき学童保育クラブと図師学童保育クラブでは映画会を実施した。また、どろん子学童保育クラブでは、保護者会と共催でクラブまつりを開催した。

## 8. 保護者支援

### 1) 個別の家庭支援

#### (1) 個人面談

子どもの成長を伝える機会として、年 1 回以上、全家庭を対象に個人面談を実施した。支援員と保護者との信頼関係の構築に重点を置き、個別支援を行った。実施にあたっては、保護者の利便性に配慮し、対面またはオンラインを選択できるようにした。

#### (2) 懇談会

保護者同士が悩みや相談を共有できるよう、学年別またはグループ別に懇談会を実施した。保護者からテーマを募るなど、身近な内容を気軽に話し合える

場となるよう工夫した。また、児童の作品展示や遊具の紹介・体験を取り入れ、児童の様子が伝わりやすい内容とした。

(3) その他

連絡帳やクラブ通信を活用し、日々の子どもの様子を伝えた。連絡帳は保育時間中の記載となるため、記入が難しい場合があることを保護者に説明し、クラブ通信等による情報提供を行った。

また、児童の入退室管理システムの活用を進め、欠席連絡や降所方法の連絡に加え、クラブ通信やお知らせをメールで配信し、保護者に情報がタイムリーに届くなどの利便性向上を図った。

2) 保育参加

保育参加は全クラブで実施した。実施時期および方法についてクラブ間で情報共有を行い、次年度も、保護者が保育を体験し、日頃の子どもの様子を知る機会として実施する。

保育参加のべ人数

大蔵	5名	凶師	16名	なかよし	11名
大戸のびっ子	10名	つくし野	28名	成瀬中央あおぞら	10名
金井	7名	鶴川	11名	南大谷	11名
高ヶ坂けやき	18名	どろん子	5名	わんぱく	7名
計					139名

3) 保護者会支援

子育てを通じて保護者同士がつながり、協力し合える関係づくりを目的に、保護者会役員と相談しながら、保護者が活動に参加できる機会を設けた。保護者会支援が円滑に行われている学童保育クラブがある一方、保護者会活動そのものの実施が難しい学童保育クラブもあり、各学童保育クラブの状況に応じた支援の必要性が見られた。

保護者会活動では、「我が子の成長を感じられること」「子どもの友達と触れ合えること」を大切に、活動が円滑に進むよう支援した。また、支援員による日常の様子の共有を通して保護者の理解を深め、子どもたちを中心に、保護者と支援員が互いに手を取り合い、協働して子育てを支える関係づくりを進めた。

4) 卒会・退会した児童と家庭へ子育て支援

- (1) 卒会・退会した児童の保護者からの子育てに関する相談について、必要に応じて対応できる体制の検討を行った。
- (2) ロケットキッズの案内と併せたクラブ情報の発信が十分に実施できなかった。次年度は、責任者会において発信するクラブ情報の内容を具体的に決定し、計画的に実施していく。

9. その他

1) 利用者アンケート

9月クラブ保護者に対し満足度調査を行い12月にアンケート結果および改善策について保護者へ報告した。調査方法は、アンケートの案内文にWeb回答用のQRコード記載し、アンケート用紙と共に配布を行い、保護者が回答方法を選択できるようにした。また、アンケートの案内をメールでも配信を行い、本文からもアンケートに回答できるようにした。回答方法を選択できるようにしたことで、昨年度よりも回収率の上昇した学童保育クラブもあったが、今年度12クラブの回収率平均は、89.5%となり、昨年度の94.2%から下がってしまった。

全世帯	回答数	全クラブ平均
1,049	932	88.90%
	前年度	94.20%

「発熱やケガなどの対応」「支援員の対応」「プライバシーを支援員は守ってくれるか」等であった。

クラブにより若干の差があるものの、評価が低かった項目は「学校と学童クラブとの情報共有」「おやつの内容や量」「保護者同士の交流」等があった。

学校と学童クラブとの情報共有については、どのように情報共有をしているのかを各学童クラブの懇談会やクラブ通信などで伝えていく。

おやつの内容や量については、物価の高騰も含め、学童保育クラブの現状を保護者に伝え、理解を求めていく。

保護者同士の交流については、昨年度 88.9%から 91.3%と満足度が上がっている。引き続き、保護者会と連携し保護者同士の交流の在り方を考えていく。

総合的満足度は、12クラブの平均で 97.1%と高い評価を得ている。いただいたご意見をもとに、更なる満足度の向上に努める。

## 2) 放課後児童クラブ自己チェックリストの活用

学童保育クラブの事業内容について、「放課後児童クラブ自己チェックリスト」を用いて、各クラブにおいて年1回の振り返りを行った。その後、全クラブで法人としての検討を行い、その結果を事業計画に反映するなど、事業内容の向上に向けた取り組みを行った。

## 3) 業務改善

### (1) 教材等の情報共有

制作物や誕生カード、壁面等の情報については、画像データ化によるクラウドでの共有には至らなかった。次年度は、ブロック会議等において共有したい教材を募り、随時クラウド上で共有していく。

### (2) 各種書類のフォームの見直し

月案、ご意見・要望等報告書（WordからExcelに変更）、事業報告・事業計画（保育報告・保育計画）、特別保育の利用名簿のフォームを変更し、効率化につながった。また、入退室管理システムから出力される出席簿から、町田市出席表が作成できるようになった。

## 4) 定期点検

年3回、事務局による各学童保育クラブの定期点検を実施した。点検項目としては、個人情報の適正な管理、衛生管理（清掃・食品）、文書管理、整理整頓、火災事故防止等について確認および指導を行った。また、おやつ代については年間を通して監査を実施した。

## 5) ボランティア・町田市立中学生職場体験等の受け入れ

保育内容の充実および地域に開かれた施設運営を目的として、ボランティアの受け入れを行った。全クラブで町田市ボランティアセンター「夏ボラ」への登録を実施した。また、中学生の職場体験の受け入れを行うとともに、東京都からの依頼により都立高校の職場体験についても、大戸のびっ子学童保育クラブにて受け入れを実施した。

【ボランティア受け入れ】

	活動内容	時期	所属	人数
大蔵	お話会	毎月	個人（地域協力者）	10人
金井	保育補助	8月	個人（学生）	1人
	保育補助	5月～6月	玉川大学（学生）	2人
高ヶ坂 けやき	お話会	8月	語り部たけのこ	2人
	工作活動	8月	個人	1人
函師	お話会	8月	語り部たけのこ	1人
	お話会	9月	朝田文庫	1人
つくし野	お話会	8月	語り部たけのこ	2人
鶴川	保育補助	5月～3月	個人（学生）	1人
どろん子	お話会	8・12月	虹の会	3人
なかよし	お話会	偶数月	個人（地域協力者）	3人
成瀬中央 あおぞら	お話会	毎月	虹の会	2人
	工作活動	8月	個人	1人
	お話会	8月	語り部たけのこ	2人
南大谷	保育補助	5月	個人（学生）	1人
わんぱく	お話会	8月・1月	虹の会	3人
	お話会	8月	語り部たけのこ	3人

【職場体験】

	学校	時期	人数
大蔵	鶴川中学校	9月17日～19日	5人
	金井中学校	1月21日～23日	4人
大戸のびっ子	都立高校職場体験	8月6, 7日	6人
	都立高校職場体験	8月13, 14日	6人
	都立高校職場体験	8月20, 21日	6人
	小山中学校	11月19～21日	4人
金井	薬師中学校	11月19～21日	2人
	金井中学校	1月21日～23日	2人
高ヶ坂けやき	南中学校	1月21日～23日	2人
つくし野	つくし野中学校	11月19日～21日	3人
	南中学校	1月21日～23日	2人
鶴川	鶴川中学校	9月17日～19日	4人
	鶴川第二中学校	1月21日～23日	2人
どろん子	南中学校	1月21日～23日	3人
なかよし	忠生中学校	1月21日～23日	3人
成瀬中央あおぞら	南中学校	1月21日～23日	3人
南大谷	南大谷中学校	9月17日～19日	2人
	町田第二中学校	11月19～21日	2人

### Ⅲ. 児童数と職員体制

#### 1. 児童数および職員配置

(2025年4月1日～2026年3月31日)

クラブ名	支援の 単位数	職 員			児 童 数			
		正規	常勤 (非正規常勤)	非常勤 (配置基準)	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	4	4	1	4	170	11	41	140
大戸のびっ子	1	3	0	0	16	8	6	18
金井	3	4	1	2	119	16	25	110
高ヶ坂けやき	2	2	1	2	72	18	36	54
函師	3	4	1	4	103	13	28	88
つくし野	3	3	2	2	118	28	44	102
鶴川	3	2	2	0	82	16	35	63
どろん子	5	5	2	14	167	25	49	144
なかよし	3	5	0	3	111	13	28	96
成瀬中央あおぞら	2	3	0	2	79	8	31	56
南大谷	4	5	0	8	162	17	36	143
わんぱく	2	2	0	2	91	19	9	81
事務局		4	0	0				
計	35	46	10	43	1,290	192	368	1,095

#### 年間利用数 (1日時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大蔵	170	169	165	165	167	160	159	153	151	147	142	140
大戸のびっ子	16	17	17	17	22	17	17	17	17	17	18	18
金井	106	106	107	108	124	103	99	99	97	96	94	94
高ヶ坂けやき	72	68	67	69	72	62	59	57	56	56	54	54
函師	103	103	100	102	104	98	95	93	92	87	87	86
つくし野	118	116	115	115	129	114	111	109	108	105	102	101
鶴川	82	80	79	80	89	76	72	71	69	66	64	63
どろん子	167	168	170	167	179	165	158	155	146	144	142	143
なかよし	111	111	111	111	110	104	102	99	98	97	95	95
成瀬中央あおぞら	79	76	74	76	78	63	60	60	60	60	59	56
南大谷	162	160	161	161	163	155	153	148	148	144	144	141
わんぱく	91	89	89	90	90	86	86	85	84	83	83	81

## 2. 人事

### 1) 採用

<採用>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	どろん子	
	正規職員	南大谷	
	非常勤職員	金井	
4月2日	非常勤職員	函師	
4月15日	非常勤職員	なかよし	
4月19日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
5月7日	非常勤職員	どろん子	
5月12日	非常勤職員	どろん子	
6月28日	非常勤職員	どろん子	9月6日退職
6月30日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
7月23日	非常勤職員	函師	シルバー人材センターより
7月24日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
7月18日	非常勤職員	鶴川	
7月23日	非常勤職員	函師	
7月22日	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
7月28日	非常勤職員	南大谷	
7月29日	非常勤職員	函師	
8月1日	非常勤職員	なかよし	
8月1日	非常勤職員	どろん子	
8月6日	非常勤職員	事務局	8月8日退職
8月19日	非常勤職員	南大谷	
	非常勤職員	函師	

<退職>

退職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月30日	非常勤職員	函師	
6月26日	正規職員	事務局	
8月14日	正規職員	大蔵	
8月18日	正規職員	どろん子	
10月3日	非正規常勤職員	大蔵	
6月30日	非常勤職員	函師	
6月30日	非常勤職員	南大谷	
6月30日	非常勤職員	なかよし	
7月15日	非常勤職員	函師	
7月31日	非常勤職員	なかよし	
8月31日	非常勤職員	金井	
10月31日	非常勤職員	のびっ子	
11月27日	非常勤職員	函師	
11月30日	非常勤職員	大蔵	

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
8月21日	非常勤職員	函師	9月20日退職
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
8月27日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
9月16日	非正規常勤職員	大蔵	
9月6日	非常勤職員	南大谷	
10月1日	正規職員	どろん子	11月28日退職
10月1日	正規職員	なかよし	派遣会社より
10月1日	非常勤職員	つくし野	
10月1日	非常勤職員	函師	
10月9日	非常勤職員	なかよし	
12月2日	非常勤職員	函師	2025年正規採用
1月5日	非常勤職員	つくし野	
1月5日	非常勤職員	つくし野	2026年正規採用
1月26日	非常勤職員	南大谷	2026年正規採用
2月1日	非常勤職員	金井	2026年正規採用
2月5日	非常勤職員	どろん子	2026年正規採用
2月19日	非常勤職員	わんぱく	2026年正規採用
3月7日	非常勤職員	大戸のびっ子	2026年正規採用
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	2026年正規採用
	非常勤職員	わんぱく	2026年正規採用
	非常勤職員	事務局	2026年正規採用

退職日	雇用形態	所属クラブ	備考
12月31日	非常勤職員	つくし野	
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
1月28日	非常勤職員	南大谷	
2月18日	非常勤職員	どろん子	
2月19日	正規職員	わんぱく	
2月27日	正規職員	南大谷	
2月28日	正規職員	大蔵	
2月28日	非常勤職員	南大谷	学生
	非常勤職員	なかよし	学生
	非常勤職員	なかよし	学生
3月31日	正規職員	大蔵	
	正規職員	金井	
	正規職員	函師	

退職日	雇用形態	所属クラブ	備考
3月31日	非正規常勤職員	つくし野	派遣 契約満了
	非正規常勤職員	どろん子	派遣 契約満了
	非常勤職員	大蔵	学生
	非常勤職員	のびっ子	学生
	非常勤職員	金井	学生
	非常勤職員	金井	学生
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生

退職日	雇用形態	所属クラブ	備考
3月31日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生
	非常勤職員	鶴川	
	非常勤職員	鶴川	学生
	非常勤職員	鶴川	学生
	非常勤職員	どろん子	
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	なかよし	学生
	非常勤職員	南大谷	学生
	非常勤職員	わんぱく	

<異動 (配置)>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	大蔵	高ヶ坂けやきより
	正規職員	大戸のびっ子 マネージャー	なかよしより
	正規職員	大戸のびっ子	南大谷より
	正規職員	金井	そよかぜより
	正規職員	金井	そよかぜより
	正規職員	函師	鶴川より
	正規職員	鶴川 マネージャー	どろん子より
	正規職員	どろん子 施設責任者	わんぱくより
	正規職員	どろん子	なかよしより
	正規職員	どろん子	つくし野より
	正規職員	なかよし 施設責任者	どろん子より
	正規職員	なかよし	金井より
	正規職員	成瀬中央あおぞら 施設責任者	函師より
	正規職員	南大谷 施設責任者	大戸のびっ子より
	正規職員	南大谷	成瀬中央あおぞらより
	正規職員	わんぱく	そよかぜより
	非正規常勤職員	つくし野	大蔵より (派遣)
	非正規常勤職員	つくし野	そよかぜより (派遣)
	非常勤職員	どろん子	そよかぜより
	非常勤職員	どろん子	そよかぜより
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	そよかぜより
	非常勤職員	南大谷	そよかぜより
	非常勤職員	南大谷	そよかぜより
	非常勤職員	南大谷	そよかぜより
	非常勤職員	南大谷	そよかぜより
	非正規常勤	鶴川	どろん子クラブより
2月1日	正規職員	大蔵 マネージャー	鶴川より

<異動（役職者）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	函師	成瀬中央あおぞらより 施設責任者昇格
	正規職員	大蔵	主任 昇格
	正規職員	大戸のびっ子	主任 昇格
7月1日	正規職員	つくし野	主任 昇格

<異動（その他）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	大蔵	非常勤職員より
	正規職員	成瀬中央あおぞら	非常勤職員より
	正規職員	事務局	非常勤職員より
	非正規常勤職員	大蔵	鶴川クラブ非常勤職員より
	非正規常勤職員	高ヶ坂けやき	非常勤職員より
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	函師クラブ非正規常勤職員より
7月1日	正規職員	つくし野	どろん子クラブ非正規より